



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



椿小学校4年生(鈴鹿市)

・会員数33名 ・サポーター数1名 ・クラブの構成 小学校のクラス ・代表サポーターの六田先生に聞きました

いつどのようにできたのですか？

2010年4月、4年生の社会科で「ごみ」の学習をすることをきっかけに、クラス全員で環境について考えていこうということになり、こどもエコクラブに登録しました。

どのような活動をしていますか？

社会科や総合的な学習の時間などを活用して、身近なところでエコにつながることはないか探しながら学習しています。

社会科の授業では、市の環境政策課の方をお願いして実際に収集車がゴミを集めている様子を見学させていただいたり、教室でゴミ処理の具体的な方法やゴミ減量の大切さなどについてお話を伺ったりしました。

総合の時間には、自分の部屋や引き出しの中で要らなくなったものや使わなくなったもの(ゴミとして捨てようと思っているもの)を持ち寄り、友達が持ってきたもので自分がほしい(使う)ものをもらっていく「エコ・マーケット」を開きました。その結果、ほとんどの「商品」が誰かの手に渡り、自分がゴミだと思っていたものをクラスの誰かが「リユース」することで結果としてゴミを減らすことができたことになり、子ども達は大変満足した様子でした。



写真①エコ・マーケット



写真②エコ・クッキング

栄養教諭の先生による食育の時間には、「エコ・クッキング」に取り組みました。食べ物(材料)を買う時、調理する時、食べる時、後片づけをする時…それぞれの場面で環境にやさしい方法があることを知り、とても有意義な授業でした。

他に、図書時間に市の巡回指導員の方に「環境」をテーマにした本の紹介をしていただいたり読んでもらったり、自分たちでも「エコ」に関する本を選んで読んだりするなどして、いろいろな教科領域で環境に関わる学習をできるかぎり取り入れるようにしています。

三重県環境学習情報センターには、社会見学で出かけたり、センターの職員さんに学校まで来ていただいて「買い物ゲーム」や「水質チェック」の出前授業をしていただくなどして、「近さ」を最大限に生かした利用をさせていただいています。

どのようなことを子どもに伝えたいですか？

「地球温暖化を防止するために」「生物多様性のバランスを守る」…と大上段に構えるのではなく、子ども達が将来大人になった時、自分にできる「エコ活動」を自分なりに見つけて仲間を増やしながら行動できるように、いつまでも環境に対する興味関心を持ち続けてほしいと思います。

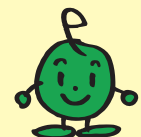


写真③4年生全員

こども
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。

●入会費・登録費無料 ●お問い合わせは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」
<http://www.ecoclub.go.jp>